

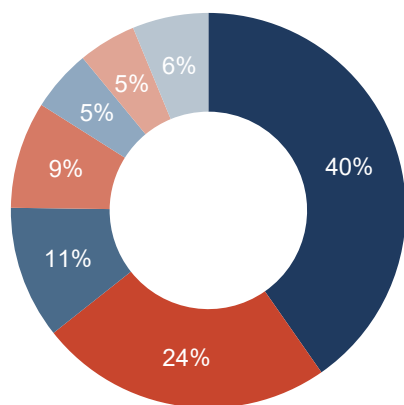
中東情勢による 建材価格高騰・入手困難等に関する 緊急アンケート調査結果 (5月15日集約版)

今回集約期間 2026年5月1日 (金) ~5月15日(金)
回答数 948件

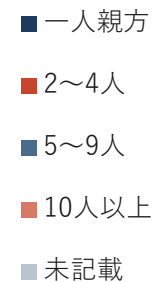
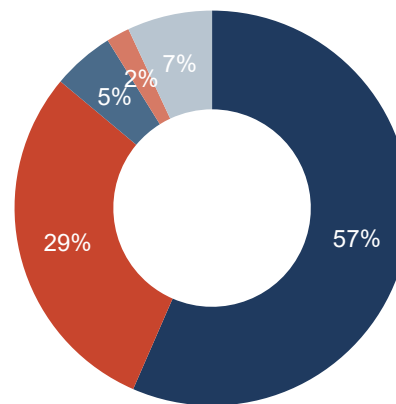
1. 回答者属性

回答数 n=948(2026年5月15日時点)

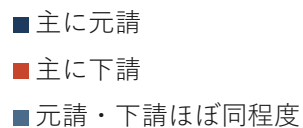
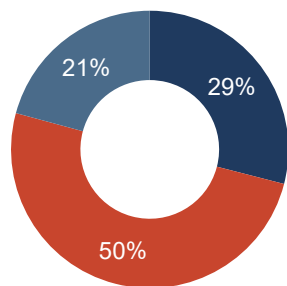
■業種



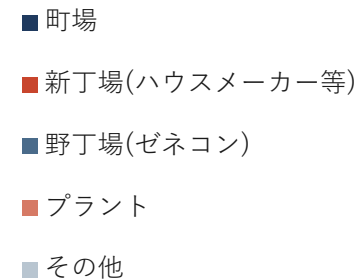
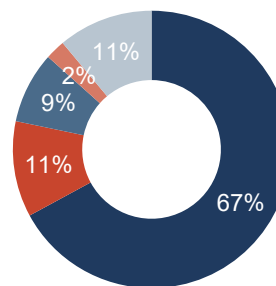
■従業員数(雇用者)



■元請・下請の別



■丁場(従事先)



2. 調査結果の概要

回答数 n=948(2026年5月15日時点)

事業者への影響あり

86%

大きな影響と少し影響の合計(819件)

工事への影響あり

43%

ある 42.9%(407件)
今後想定 37.7%(357件)

発注者・上位企業とのトラブル

ある 4%

今後想定 41%

(あり 36件 / 今後想定 393件)

■価格高騰・入手困難の影響が大きい建材

1 シンナー

54.7%

平均上昇率

2 塗料

44.5%

平均上昇率

3 アスファルトルーフィング

43.5%

平均上昇率

■現場が求める支援策(上位3項目)

1

資材価格の安定化・流通の確保

76.5%

2

税・社会保険料の負担の軽減

34.4%

3

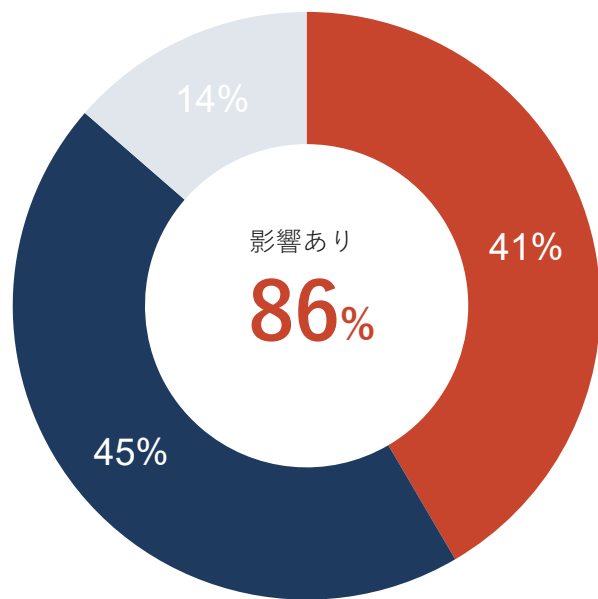
工事代金・工期の変更協議の円滑化

32.5%

約9割の事業者が影響を受け、工事への影響あり43%。価格上昇率はシンナーで54.7%

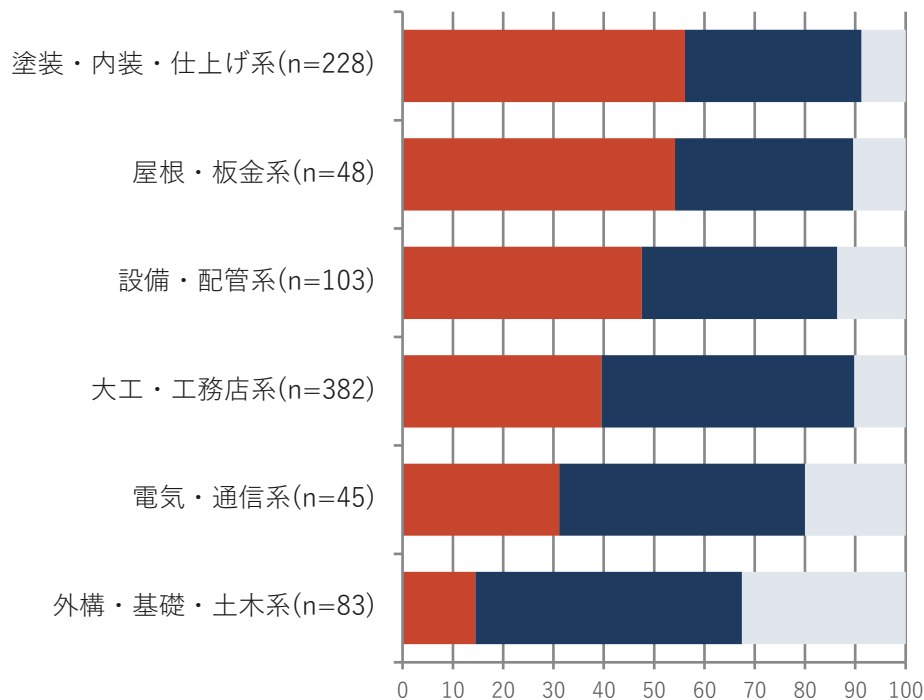
3. 中東情勢による建材の価格高騰・入手困難の影響

■ 影響の度合い(全体)



■ 大きな影響 ■ 少し影響 ■ 影響なし

■ 業種別 影響度の割合



■ 大きな影響 ■ 少し影響 ■ 影響なし

塗装・内装・仕上げ系、屋根・板金系で「大きな影響」が5割超に

4. 業種別 影響を受けた建材 上位3品目

各業種の事業者が影響を受けたと回答した建材の上位3品目(n=業種別の回答数)

■大工・工務店系(n=382)

1	断熱材	66.5%
2	システムバス等	57.9%
3	合板	56.3%

■屋根・板金系(n=48)

1	アスファルトルーフィング	79.2%
2	塩ビ管	41.7%
3	金属資材(鋼材等)	37.5%

■電気・通信系(n=45)

1	塩ビ管	40.0%
2	金属資材(鋼材等)	11.1%
3	シンナー	6.7%

■塗装・内装・仕上げ系(n=228)

1	シンナー	60.5%
2	塗料	51.3%
3	断熱材	8.8%

■設備・配管系(n=103)

1	塩ビ管	66.0%
2	システムバス等	18.4%
3	金属資材(鋼材等)	13.6%

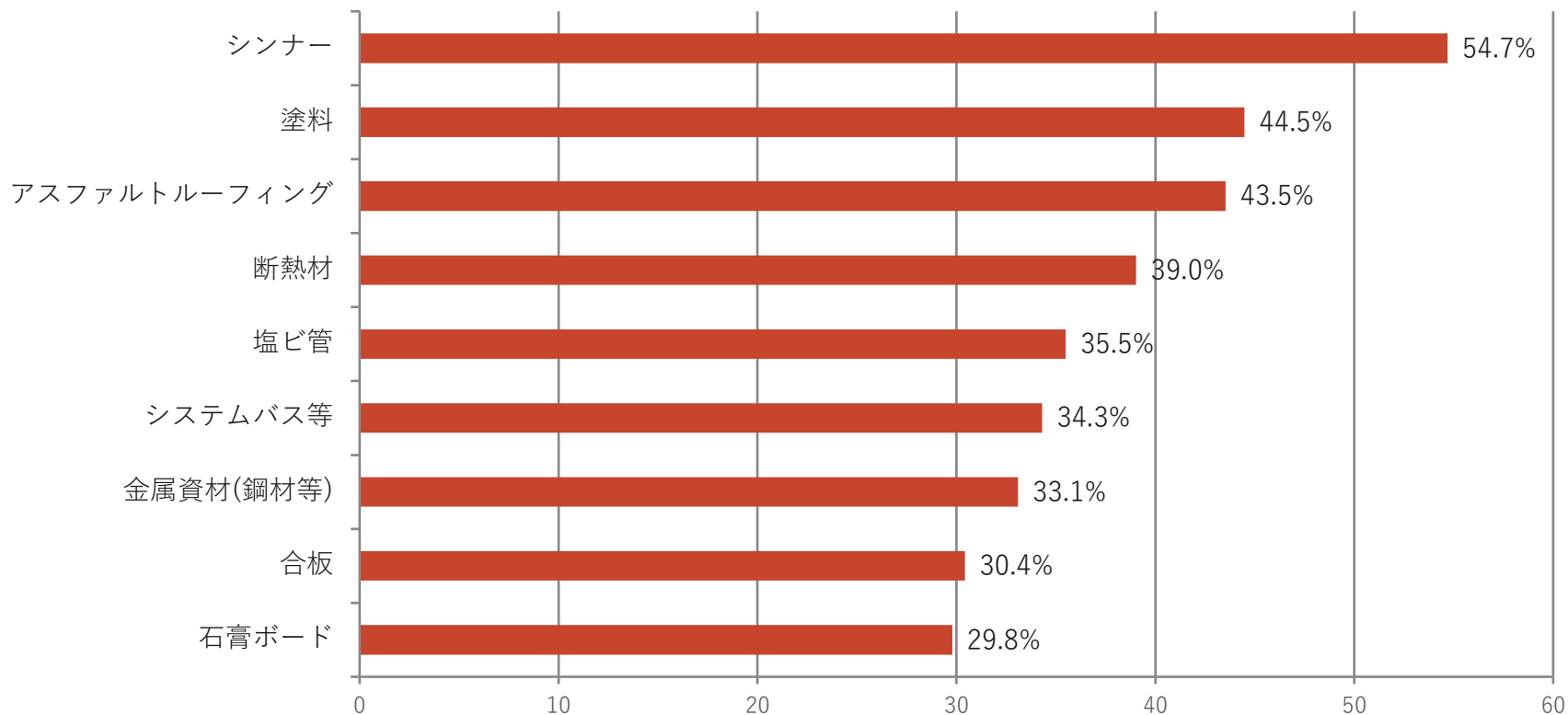
■外構・基礎・土木系(n=83)

1	塩ビ管	13.3%
2	塗料	12.0%
3	シンナー	10.8%

塗装・内装・仕上げ系はシンナー、屋根・板金系はアスファルトルーフィング、設備・配管系は塩ビ管

5. 建材別 価格上昇率

建材別の平均価格上昇率(業種を問わず、価格上昇を回答した事業者ベース)



シンナーの価格上昇率は54.7%など、ナフサ系製品で価格高騰が深刻

6. 業種別 入手困難のあった建材 上位3品目

各業種で入手困難を回答した事業者の割合(n=業種別の回答数)

■大工・工務店系(n=382)

1	断熱材	25.7%
2	システムバス等	25.1%
3	シンナー	20.9%

■屋根・板金系(n=48)

1	アスファルトルーフィング	25.0%
2	塩ビ管	8.3%
3	シンナー	4.2%

■電気・通信系(n=45)

1	塩ビ管	2.2%
1	塗料	2.2%
1	シンナー	2.2%

■塗装・内装・仕上げ系(n=228)

1	シンナー	37.7%
2	塗料	21.1%
3	断熱材	4.8%

■設備・配管系(n=103)

1	塩ビ管	22.3%
2	シンナー	8.7%
2	システムバス等	8.7%

■外構・基礎・土木系(n=83)

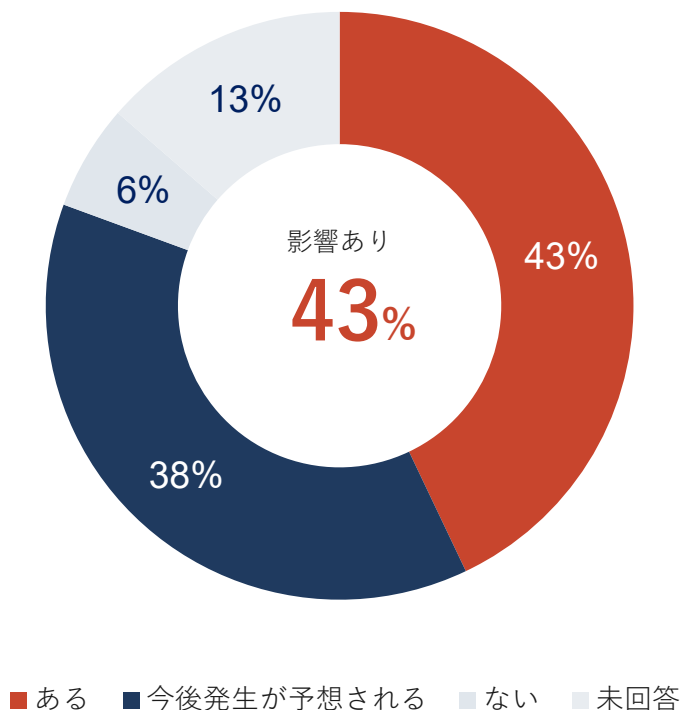
1	塩ビ管	6.0%
1	シンナー	6.0%
3	塗料	4.8%

入手困難 自由記入に寄せられた建材 (n=278)

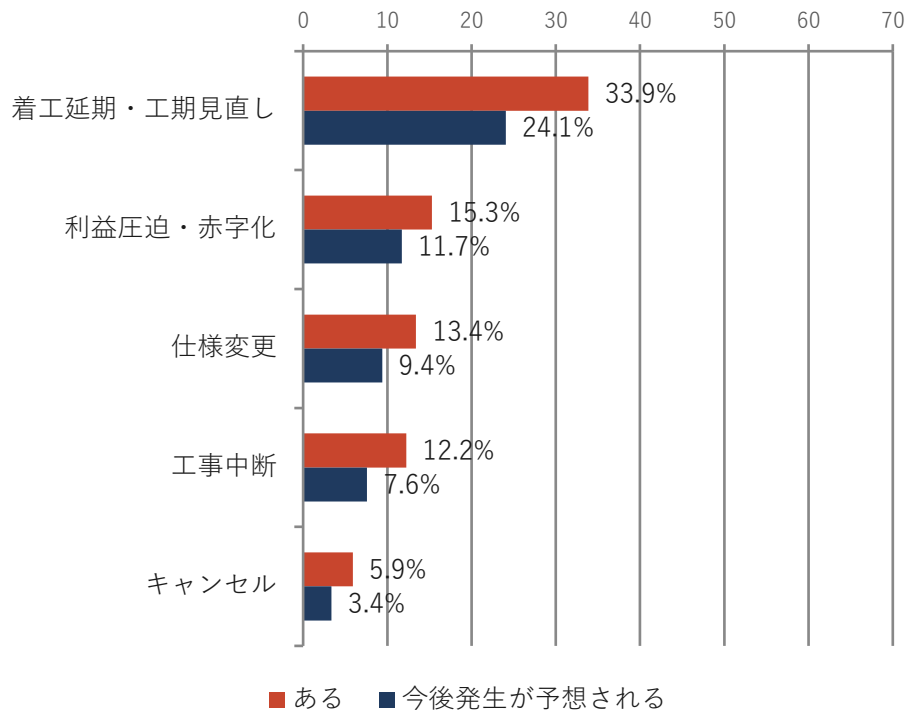
シーリング・コーキング材、ボンド・接着剤、配管パイプ類、内装材（壁紙・床材・化粧板等）、マスキングテープ、衛生機器、錆止め、ケーブル・電気資材、照明機器、雨どい、システムキッチン、養生材、外壁材、ポリカ材、気密・透湿シート、作業油・オイル、タイル関連製品

7. 工事現場への影響

■工事への影響の発生状況



■影響の種類(複数選択可)

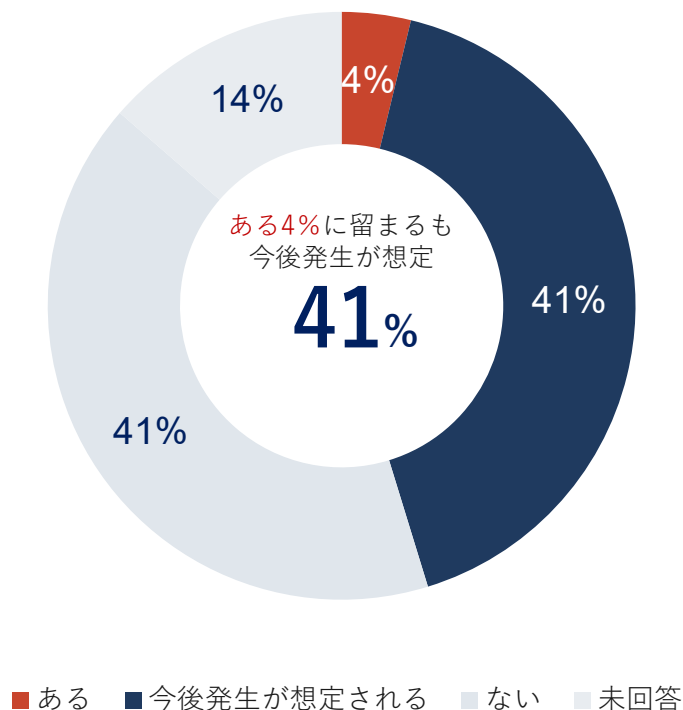


注: 影響の種類は複数選択可。全948件に対する回答割合。

工事への影響あり43%、今後想定38%。着工延期に留まらず工事中断・キャンセルも発生

8. 発注者・上位会社とのトラブル

■トラブルの発生状況



■現場から寄せられた具体事例

材料が手に入らない為に、仕事を断らなければいけない。また、工期を約束できない

(神奈川県/塗装・内装・仕上げ系/主に下請)

見積後に材料入手困難の為、単価が合わない、工事が請けられない

(東京都/塗装・内装・仕上げ系/主に下請)

価格が頻繁に値上がりするため、見積金額と請求金額を変えるしなくなる

(茨城県/外構・基礎・土木系/主に元請)

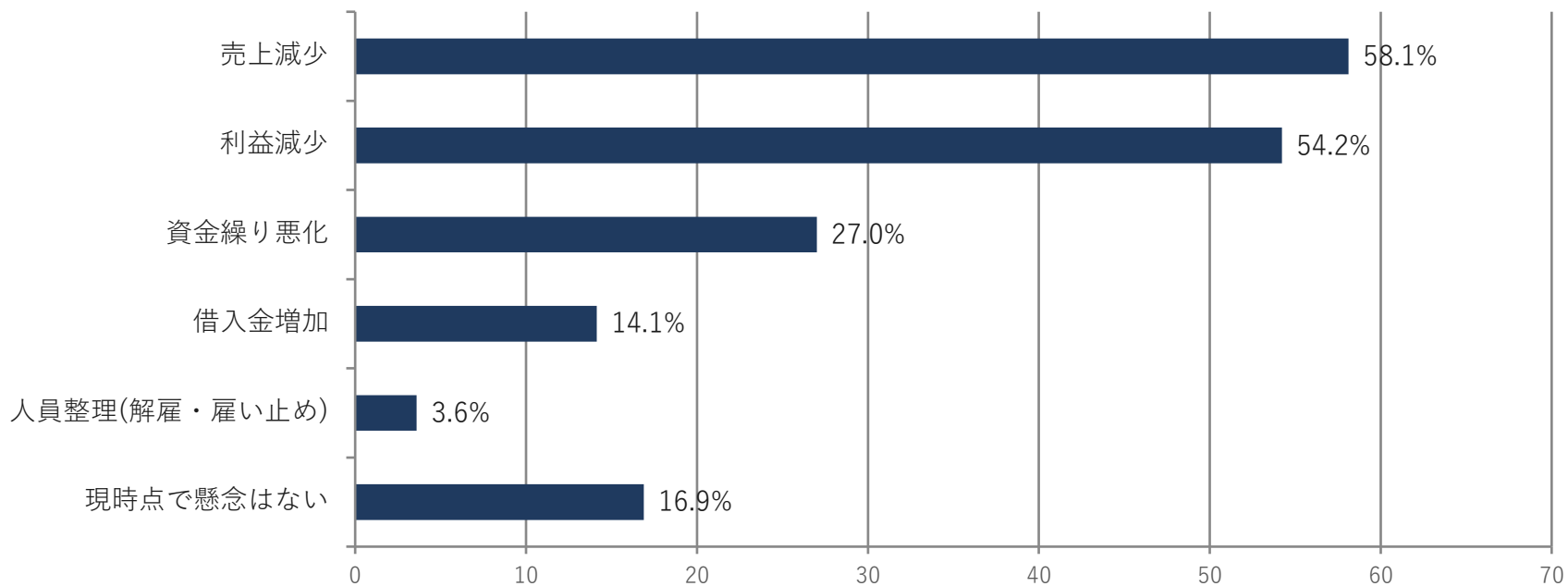
見積有効期限を3ヵ月→1ヵ月に変更したが、着工時再見積で金額上昇となった場合のトラブルが懸念

(静岡県/塗装・内装・仕上げ系/主に元請)

トラブル「ある」は4%に留まるも「今後の発生想定」は41%に

9. 経営への懸念

今後懸念される経営上の影響(複数選択可・全948件中)

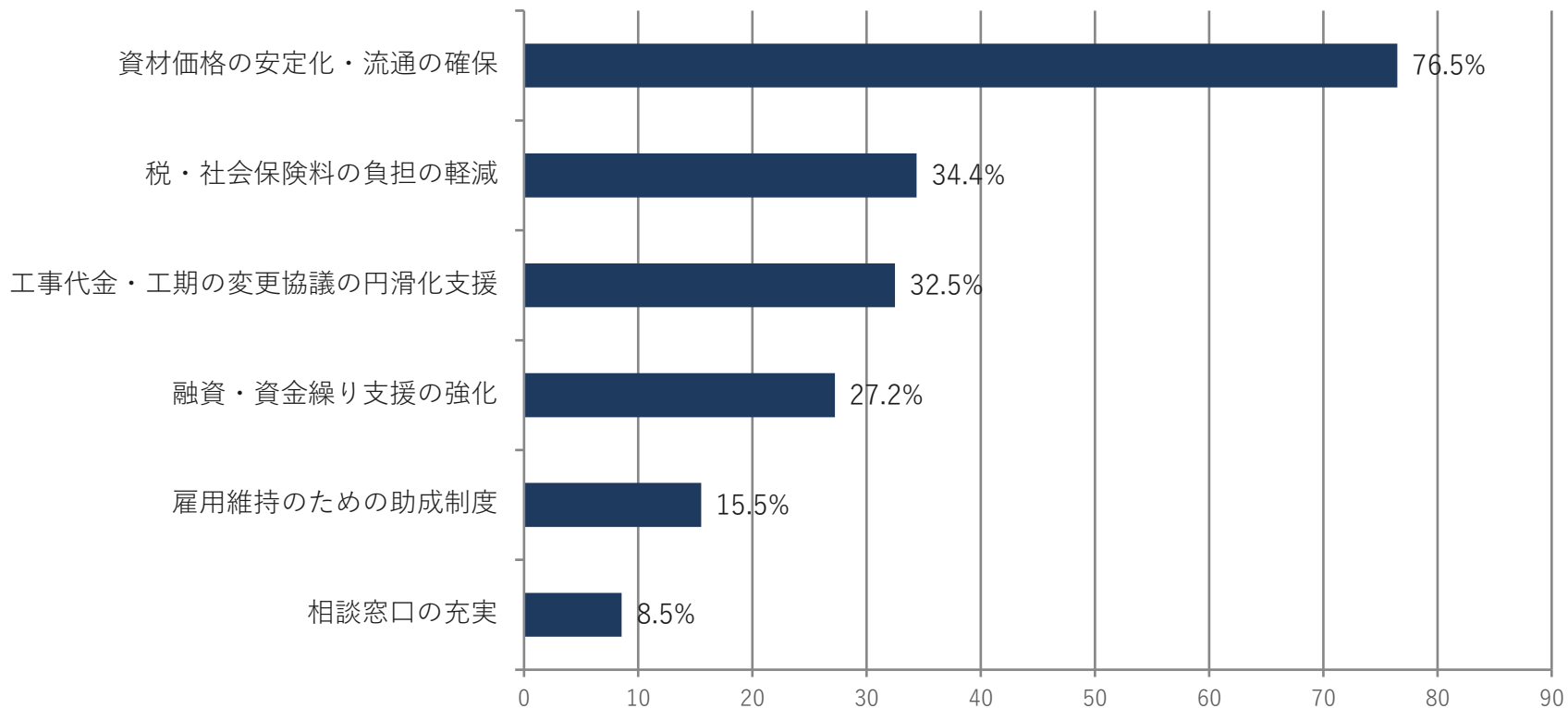


売上減少58.1%、利益減少54.2%と、5~6割の事業者が経営悪化を懸念。
一人親方・2~4人規模の小規模事業者が回答者の約86%を占めるが、人員整理の懸念は3.6%(34件)。
従業員を雇用している事業者層では雇用維持への現実的な危機感が広がっている。

売上減少58%・利益減少54%。中小事業者の経営圧迫が危惧される状況

10. 現場が求める支援策

必要と考える支援策(複数選択可・全948件中)



76%超が「資材価格の安定化・流通の確保」を要望。政府による需給安定化策が急務

11. 現場の声

材料入手不能／受注停止

シンナー系はすべて入らない。塗料は油性・水性とも入手困難。ストップのメーカーも出ている

(兵庫県/塗装・内装・仕上げ系/主に下請)

塗料などは入ってくる見込みが無いものもあり、全く先が見えない。このままでは会社がつぶれてしまう可能性もある

(長野県/塗装・内装・仕上げ系/元請・下請ほぼ同程度)

断熱等級、耐震等級に関わる新築やリフォームが基準値の材料不足の為、着手不可

(神奈川県/その他(住宅資材販売)/主に下請)

工期・納期トラブル／工事進行不能

足場を建てたのに材料が入手困難で工事に入れない

(長野県/塗装・内装・仕上げ系/主に下請)

サイディング用のコーキング材が発注して1ヵ月、未だ納期回答もない。外部足場が外せない、足場代追加料金が発生する

(神奈川県/大工・工務店系/主に元請)

工事期間中に材料が手配不可能になり進められなくなる。他業者の材料不足により現場の進行が不能になる

(岐阜県/塗装・内装・仕上げ系/主に下請)

廃業・倒産リスク／経営悪化

請負現場のスタートの遅れ等があると抱えている職人が行き場を無くしてしまう。給料の保証もしなければ路頭に迷ってしまう

(神奈川県/設備・配管系/主に下請)

現在の工事では何とかやりくりをしているが、今後資材の入手困難な場合、工期の延期や代金回収の遅れ、契約解除となれば従業員への給与支払いや借入の返済等に影響する

(長野県/大工・工務店系/主に元請)

価格転嫁困難・単価据え置き

見積り金額が短期間で大幅値上げしてしまったのに、施主には旧価格で通知されているため不安

(静岡県/塗装・内装・仕上げ系/主に下請)

金額の変動が早く、見積りを出して工事に入った際に、もうその見積りの金額では材料が買えず追加請求か赤字になる

(福岡県/電気・通信系/元請・下請ほぼ同程度)

見積り提出時と材料単価が大幅に違う為、利益が圧迫される。また今後材料の入手が困難になると通達されている

(静岡県/設備・配管系/主に下請)